

出前講座報告書

実施日時	2021年5月8日 13:00~15:00	主催者名	安心の街づくりの会
講師名	高松利昌	会場名	清水交流センター研修室
テーマ	国民健康保険料引下げ運動に向けて		
参加人数	16人	報告者	鈴木健仁 高松利昌

《質問された内容など》

【講座内容】

○国民健康保険の成り立ち仕組み

・国民健康保険は社会保障((目的)第一条 この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もつて社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする。)国民健康保険法に明示。

○国民健康保険加入者の状況

・所得階層 200万円未満 81.18% 国保料軽減世帯 62.6% 滞納世帯所得階層 200万円未満 85.85%

・滞納理由 生活状況の悪化 52.35% 均衡不能 11.63% 経営悪化 8.77%

・滞納に対するペナルティ 差し押さえ 短期保険証 資格証明書

○国保財政

・医療費への国庫負担率が18年間で6%引き下げ、患者負担+保険料は5%引き上げ

○国保、何が問題なのか、その糸口

・国保は「助け合い」の制度ではなく社会保障だという世論の構築、弘前市国保料引き下げは2年間、来年度の財政推計に注目。均等割の廃止または0円、18才未満への賦課を0円(子育て世代への支援、少子化対策)、恒常的経済的困窮世帯への救済

【質問内容、感想等】

○弘前市の国保料が高いと言われるが？→比較の仕方による。

○県内統一の国保料になる？→県内市町村で差がありすぎるため県でも迷っているようだ。

○国庫負担が減→国が補助金を出す→都道府県化になった時に、一時的にあった。

○弘前市の国保加入者の収入が低い？→所得割が高い

○国保料に関する問い合わせは県か市？→

《気づいたことや今後の教訓など》

・

